

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町  
 本事業の担当部局名 健康福祉課子育て支援係

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	中学生を対象とした乳幼児ふれあい体験学習					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和7年度			
総事業費(A)(円)	300,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	300,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	300,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	300,000	0	0	0	0	300,000	
	対象経費支出予定額	300,000	0	0	0	0	300,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和5年度の出生数は40人であり、毎年減少している。また令和6年12月1日現在の年少人口は1,034人で全体の8.2%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。                      また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      乳幼児と直接触れ合う体験をすることにより、命の大切さや、乳幼児との関わり方等について学び、結婚・子育てについての理解を深める。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	中学生を対象にした乳幼児ふれあい体験学習の実施	中学生を対象に地域の乳幼児とふれあうことが出来る学習時間を提供するため、委託により次のとおりふれあい体験学習を実施する。 【ふれあい体験学習】 中学校3クラスを対象に、1クラスにつき10組の親子(乳幼児とその養育者)がふれあう。 また、子育て支援センターの保育士による講話や養育者との対話の時間を設定する。					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	参加生徒の子育てに関する理解度		%	80	
	婚活応援事業を介した結婚組数(累計)		組	5	3
	婚活応援事業への参加人数(年間)		人	30	17
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.17	
	婚姻件数		件	24	
	婚姻率			1.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれ合い体験学習に参加した生徒数	人	85	---
	②	ふれ合い体験学習に参加した親子数	組	10	---
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	---
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町  
 本事業の担当部局名 総務課企画財政係

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.3 出合いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	東庄町婚活セミナー					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度	
総事業費(A)(円)	600,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	600,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	600,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	250,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	250,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	350,000	0	0	0	0	600,000	
	対象経費支出予定額	350,000	0	0	0	0	600,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通          これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和5年度の出生数は40人であり、毎年減少している。また令和6年12月1日現在の年少人口は1,034人で全体の8.2%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。          また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;          東庄町結婚支援センターの運営を行い、登録者の出合いの場の創出や周知を行う。          また、婚活セミナーやイベントを実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	婚活イベント・スキルアップセミナーの開催	<p>婚活イベントの開催          町認定婚活サポーター・結婚支援ボランティア主導の婚活イベントを開催し、男女の出合いの場を提供する。          ・場所 町内          ・人数 10人(1回)          ・回数 5回          ・内容 参加者が集まりやすい内容日時を検討し、実施していく。</p> <p>【婚活イベントと有機的に連携する取組(2つ)】          ●スキルアップセミナー          食事マナーやTPOに合わせた服飾についてのスキルアップセミナーを開催する。          ●結婚支援センターへの登録促進          HPやチラシにより、結婚支援センターへの登録の促進を促す。</p>					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	参加生徒の子育てに関する理解度		%	80	
	婚活応援事業を介した結婚組数(累計)		組	5	3
	婚活応援事業への参加人数(年間)		人	30	17
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.17	
	婚姻件数		件	24	
	婚姻率			1.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活イベントへの参加者数	人	40	20 (R5年)
	②	婚活セミナーへの参加者数	人	40	---
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50	---
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度当初分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町  
本事業の担当部局名 総務課企画財政係

事業メニュー	結婚新生活支援事業							
区分	一般コース							
関連事業メニュー	4.1 結婚新生活支援事業(一般コース)							
個別事業名	東庄町結婚新生活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間	令和7年4月1日	~	令和8年3月31日	事業開始年度	令和4年度			
総事業費(A)(円)	2,400,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	2,400,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,400,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和5年度の出生数は40人であり、毎年減少している。また令和6年12月1日現在の年少人口は1,034人で全体の8.2%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。 また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行うもの。</p>							
個別事業の内容	<b>1. 概要</b>							
	<b>【対象費用】</b>							
	<input type="radio"/>	住宅取得費用	<input type="radio"/>	住宅リフォーム費用	<input type="radio"/>	住宅賃借費用	<input type="radio"/>	引越費用
	<b>【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載</b>							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	<b>【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載</b>							
	29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
<b>【その他独自要件】</b>								
市町村税の滞納が無いこと								

2. 申請見込

①新規世帯見込 

5	世帯
---	----

  
 上記のうち 

ともに29歳以下	3	世帯
その他	2	世帯

②継続補助世帯見込 

0	世帯
---	----

  
 (継続補助規定の有無) 

無
---

【世帯数積算根拠】

29歳以下:3世帯(申請見込)×60万(補助上限額)=1,800千円  
 ・3世帯については令和4年の夫婦ともに婚姻日における年齢が29歳以下の婚姻件数10件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務担当において確認し、算出。  
 上記以外:2件(申請見込)×30万(補助上限額)=600千円  
 ・2世帯については令和4年の夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下(ともに29歳以下を除く)の婚姻件数6件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務担当において確認し、算出。

(参考)

【令和6年度申請状況】 

実施中
-----

  
 (申請世帯数見込 

5	世帯
---	----

 ~12月(実績) 

0	世帯
---	----

 1月~3月(見込) 

5	世帯
---	----

)

【金額積算根拠】

<上限額>		<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>	
(29歳以下)	3 世帯 × 600,000 円 =	1,800,000 円	
(その他)	2 世帯 × 300,000 円 =	600,000 円	
	(継続補助)	0 円	
	合計	2,400,000 円	

3. 広報の実施予定

町ホームページやSNSを活用して広報を行う。また婚姻届を提出した世帯へもチラシを配布するなどして周知する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		参加生徒の子育てに関する理解度	%	80	
	婚活応援事業を介した結婚組数(累計)	組	5	3	
	婚活応援事業への参加人数(年間)	人	30	17	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.17	
		婚姻件数	件	24	
	婚姻率		1.8		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	60	19 (R5年度実績)
		(アウトカム)			
①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	80	50 (R5年度実績)	
②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	80	50 (R5年度実績)	